



関西情報工学院専門学校 進路だより

がんばれ～!



道するべ9月

3年生就職活動真っ最中！夏は休みなし！

応募前職場見学！



夏休みの間の進路学習で頑張ったこと、応募前職場見学で感じたこと、勉強合宿で学んだこと、一人ひとりが得たものをしっかり自分の中でまとめて、**3力【学力・面接力・作文力（小論文）】**に磨きをかけましょう。壁にぶつかるのは当たり前、そこであきらめて逃げてしまったら全てが終わります。**高校生活の集大成となる2学期**です。採用試験・入学試験に全力で取り組みましょう！

しめ切り  
は  
守る!

書類の「提出期限」を守ろう！

- ・ 1日くらい遅れてもいい。
- ・ 締め切りが迫ったら教えてくれる。

このように考えている人はいませんか？これからは、履歴書や受験願書など重要な書類を多数提出する必要があります。1日どころか1分でも遅れたら受け取ってもらえず、試験を受けることが出来ません。**時間に余裕をもって、提出期限を必ず守りましょう。**

就職・進学

仕事をするということは、社会へ貢献し世の中を豊かにします。自分の力（能力）が発揮できる会社（職種）を選択する必要があります。

進学の目的も、合格ではなく「**〇年先の自分**」を意識し、学校を選択する必要があります。学費だけで数百万円が必要です。「**数百万円の買い物**」と考えると気軽な気持ちで決定をすることはできません。後悔のない選択をしましょう。



企業が、面接で1番聞きたいことは、ズバリこれです！

「**なぜ弊社を選んだのか？**」「**どう会社に貢献してくれるのか？**」を企業は知りたいと考えています。そこから**入社意欲はあるのか？自社にマッチする人材なのか**を判断されます。

企業側のニーズと、君たちの価値観や仕事で実現したいことが合っていれば、入社後に活躍できる可能性が高いからです。



## 就職を考えている1・2年生へ 自己理解が大切！



「なぜ働くのか」ということを、自分で理解し納得した上で就職を選択して欲しいです。そのためには早い時期に、「自分がしたいこと」や「どこで働きたいか」などを考えてみましょう。

自分と向き合いながら、将来の自分の姿を早い時期に意識する必要があります。そのためには、**1・2年生は遠慮せずに進路指導室を利用しましょう**。進路指導室の、求人票・会社案内、受験報告書をご覧ください。先輩たちが残してくれた貴重な資料を活用しましょう。

## 進学を考えている1・2年生へ 勝負はすでに始まっています！

進学を目指している人、**高校3年生になったら受験生！**ではありません。ただ高校3年生というだけで、進学を希望している全員が受験生かという、そうではありません。**目的意識もなく、受験勉強に対していい加減な人を、受験生と呼ぶことはできません**。受験生というのは、自分の行きたい志望先に向けての意識が強く、「自分は〇〇大学に入りたいから頑張るぞ！」と**計画的に、そして覚悟を決めて勉強をはじめた人**が受験生なのです。他校では高校1年生で、すでに受験生になっている人もいます。

本校の受験傾向は、学校推薦型選抜（指定校含む）・総合型選抜が主流ですが、**進学してから学力不足に苦勞し、辛い思い**をすることがあります。**楽をして入学すれば、必ずそのツケが回ってきます**。合格後も、ずっと勉強を続ける必要があります。

放課後の光景...すぐにスマホを触るのではなく、大学の過去問題（通称赤本）・英単語や熟語、検定試験などの参考書がいつになったら現れるのでしょうか。

進学希望の人は、大学・短大・専門学校のオープンキャンパスに参加しましょう。

オープンキャンパスに参加し、以下の事を見ましょう。

- ①大学の施設・設備。
- ②体験授業があればそれに参加し、実際の大学の授業を受ける。
- ③キャンパスツアーに参加して在校生から本音を聞いてみる。

上記の3つは、実際にその場に足を運ぶことでしか感じることは出来ません。



## 視野を広げる活動を意識してみよう！

みなさんはこの夏、どんなふうに過ごしましたか？

昨年までのコロナ禍の影響で、様々な経験や体験をしたり、人々と交流したりする機会が制限されてきました。これは成長期にある皆さんの**視野や考え方を広げる機会が減っている**ともいえます。

広い視野を持つことは、これからの**社会で必要**になります。これからの季節は、読書の秋、芸術の秋といわれますので、ぜひ本を読んだり、映画を見たりしながら多くの価値観、考え方に触れ、**自身の視野を広げる時期**にしてください。

まずは、貪欲に知識や考え方を吸収して溜めてみましょう。きっと**今まで見えなかったものが見えてくる**はずです。

